

自治体事例付き

チェックリストで施策を確認！

# エビデンスに基づく 全国の取り組み分析

受診率向上施策ハンドブック 第3版

検診ガイドを配布していますか？

対象者全員に受診券を発行していますか？

受けられる検診内容は、分かりやすく説明できていますか？

申し込み方法が順を追って分かりやすく書かれていますか？

対象者全員に複数回勧奨していますか？

勧奨方法に工夫をしていますか？

## はじめに

令和4年度大規模実証事業では、これまで全国で行われてきたがん検診受診率向上の施策を集約し、協力自治体で実施することにより、どのような手法で取り組むことが効果的であるかを検証しました。

また、全国すべての市区町村に対し、各自治体が実施する令和3年度がん検診における取り組みについて、アンケート調査への協力を依頼。その回答と、同年度の各自治体のがん検診受診率（地域保健・健康増進事業報告などから入手）を突合し、統計解析を実施した結果、受診率向上につながる可能性のある取り組みを多数発見することができました。それらを好事例として、本誌にて紹介していきます。

今回取り上げる事例は、勤奨方法はもちろん、検診体制のあり方や、申し込み方法の改善など多岐に亘ります。そして、がん検診運営の根本的な部分を見直すと、より受診率向上につながりやすいことが分かる内容となっています。これを機会に、好事例を参考にいただき、本誌が受診率向上策の一助となれば幸いです。

### アンケート分析について

自治体が行っているさまざまな受診率向上施策と受診率との相関を見ることを目的に、全国の自治体に対してアンケート調査を行いました。集団検診・個別検診の割合や費用、回数、申し込み方法、受診のリマインドなど幅広い調査項目を設け、令和4年4月～5月にインターネットで実施。全国1,329市区町村より回答を得ました。

▶ アンケート分析は、カテゴリーごとに各ページに掲載



がん検診受診率向上に関する市区町村アンケート

実施日時：2022年4月13日（水）  
回答に費やす時間：約10分程度（目安）

※回答の提供はすべて任意であり、検診についてお答えください。  
※回答に費やす時間：約10分程度（目安）

項目	実施回数	実施時間	実施場所	実施時期	実施回数	実施時間	実施場所	実施時期
集団検診	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
個別検診	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
乳がん検診	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
大腸がん検診	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
子宮頸がん検診	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

### 本誌の活用の方

まずP3～4の「がん検診受診率向上チェックリスト」を確認してください。カテゴリー別  
に実施項目や受診率向上につながる取り組みが記載されていますので、一つずつチェック  
していきましょう。好事例やポイントを参考にし、自身の自治体の施策にお役立てください。

## 目次

<b>✓</b>	<b>がん検診受診率向上チェックリスト</b>	<b>P3</b>
<hr/>		
<b>01</b>	<b>検診の案内について</b>	<b>P5</b>
	事例 京都府宇治市／検診ガイド・広報の内容の見直し	P6
<b>02</b>	<b>申し込みについて</b>	<b>P7</b>
	事例 京都府福知山市／Web 申込を導入	P7
	事例 広島県東広島市／申し込み方法を変更し、資材の見直し	P8
	事例 愛媛県松山市／検診の自己負担額の見直し	P8
<b>03</b>	<b>検診当日について</b>	<b>P9</b>
	事例 愛媛県／検診の待ち時間における受診率との関連性	P10
<b>04</b>	<b>勧奨について</b>	<b>P11</b>
	事例 京都府福知山市／受診率向上に向け個別に再勧奨	P11
	事例 東京都八王子市／割引チケットの導入	P12
	事例 希望の虹プロジェクト／無料で使える受診勧奨資材の提供	P12
<b>05</b>	<b>その他について</b>	<b>P13</b>
	事例 東京都港区・静岡県長泉町／他にも受けられる検診を可視化	P14
	事例 東京都八王子市／大腸がんキットの事前送付	P15
	事例 広島県／精密検査を受診できる医療機関一覧を提示	P16
	事例 北海道／薬局、薬剤師との連携により声かけを実施	P16
	<b>データ解析から読み解く！受診率向上に向けた対策</b>	<b>P17</b>
<hr/>		
	<b>その他自治体の参考事例</b>	<b>P19</b>
<hr/>		

### ◎がん検診受診率向上チェックリスト

調査研究により、がん検診の受診率向上が見込める施策を掲載しています。当てはまる項目は「参照ページ」にて実施内容をご確認ください。他の自治体の

当てはまる項目にチェック

スケジュール		カテゴリー	実施項目	<input checked="" type="checkbox"/> 受診率向上につながる取組
4月	検診ガイドを送る	検診の案内	周知	<input type="checkbox"/> 検診ガイド(検診に関するお知らせ)を配布もしくは
5月	受診券を送る		内容	<input type="checkbox"/> 受けられる検診内容は、分かりやすく説明できて
			受診券	<input type="checkbox"/> 対象者全員に受診券を発行していますか？
6月	初回 申込受付期間 受診期間	申し込み	予約方法	<input type="checkbox"/> 予約方法は分かりやすく工夫されていますか？
7月			動作指示	<input type="checkbox"/> 申し込み方法が順を追って分かりやすく書かれて
			検診費用	<input type="checkbox"/> 検診費用は受診者にとって負担が少ないですか？
8月	検診当日	同時受診	<input type="checkbox"/> 特定健診とがん検診の同時受診は可能ですか？	
9月		所要時間	<input type="checkbox"/> 待ち時間は受診者にとって負担が少ないですか？	
10月			勧奨通知を送る	<input type="checkbox"/> 待ち時間は受診者にとって負担が少ないですか？
11月	申込受付期間 受診期間	勧奨	対象者	<input type="checkbox"/> 対象者全員に複数回勧奨していますか？
12月			方法	<input type="checkbox"/> 勧奨方法に工夫をしていますか？
1月		受診期間	その他	複数受診
2月	意向調査			<input type="checkbox"/> 次年度受診の意向調査を実施していますか？
	フォローアップ			<input type="checkbox"/> 当日受診しなかった方に、再度受診を勧める連絡
3月	受診期間	キット配布	<input type="checkbox"/> 大腸がん検査キットを申込者に郵送していますか？	
		精密検査	<input type="checkbox"/> 精密検査が受診できる医療機関が分かるようになる	
		連携	<input type="checkbox"/> 薬局と連携した受診勧奨を行っていますか？	

る項目にチェックを入れてください。  
 好事例も紹介していますので、今後の勧奨事業にぜひご活用ください。

チェックリスト	👉 自治体 好事例紹介	🔍 参照ページ
は送付していますか？		
いますか？	事例 京都府宇治市 P6	検診の案内について P5
	事例 京都府福知山市 P7	
いますか？	事例 広島県東広島市 P8	申し込みについて P7
	事例 愛媛県松山市 P8	
	事例 愛媛県 P10	検診当日について P9
	事例 京都府福知山市 P11	
	事例 東京都八王子市 P12	勧奨について P11
	事例 希望の虹プロジェクト P12	
当日も含む)	事例 東京都港区／静岡県長泉町 P14	
をしていますか？（検診実施後）		その他 P13
？	事例 東京都八王子市 P15	
っていますか？（結果返却時）	事例 広島県 P16	
	事例 北海道 P16	

※当てはまらない項目については、参照ページで詳細をご確認ください。

- チェックリスト
- 検診の案内について
- 申し込みについて
- 検診当日について
- 勧奨について
- その他

# 01

# 検診の案内について

## 検診ガイドや広報を活用して事前案内し、 検診内容を分かりやすく伝えることが大切です。

がん検診に力を入れていても、対象者に情報が正しく伝わらず、受診率が上がらないケースは少なくありません。検診ガイドや広報を上手に活用して広く周知し、受診行動につなげましょう。

### 3つのポイント

- 1 検診ガイドの送付や広報で  
検診実施をお知らせする
- 2 検診内容を分かりやすく  
整理して伝える
- 3 がん検診対象者に  
受診券を送る

## 1 検診ガイドの送付や広報で 検診実施をお知らせする

# 検診ガイド # 広報

受診率が低い自治体では、がん検診がいつ、どこで、誰を対象に実施されているかといった基本的な情報が住民に浸透していない可能性があります。また、複数受診が推奨されていることをなんとなくは知っていても、自分が対象になっていることを見逃している人は多いかもしれません。さらに、企業等に勤めている人の場合、市町村のがん検診を受診できることを知らないということも考えられます。そこで、まずは検診ガイドや広報紙・誌を配布・送付し、がん検診を実施していることを広く伝えていきましょう。

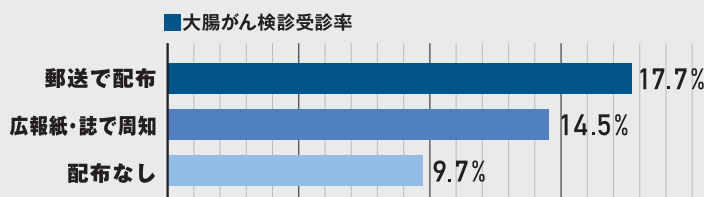
## 2 検診内容を分かりやすく 整理して伝える

# 検診ガイド # 動作指示

検診ガイドを作成する際に、よくある失敗の一つが「掲載している情報量が多すぎる」ことです。検診ガイドを受け取る人に、より詳しく説明したいという思いから、ついボリュームが増えてしまい、がん検診の実施項目や実施場所・日時など、最も伝えなければならない内容が埋もれてしまっているケースも少なくありません。掲載する情報を整理して、分かりやすくシンプルに伝えることを心がけましょう。

### ■ アンケート結果より／案内方法と受診率の関係

問：令和3年度のがん検診の検診ガイドはどのように配布されましたか。  
(対象者が50,000人以上の自治体で比較)



広報紙・誌で周知している自治体は、配布なしの自治体に比べて受診率が約5%高くなっています。また、検診ガイドを世帯または個人へ郵送している自治体は、広報紙・誌にも載せず検診ガイド単体で配布もしていない自治体よりも受診率が約8%高い結果となりました。たくさんの情報が載っている広報紙・誌の一部よりも、検診の情報のみのご案内(送付)が有効であることがうかがえます。



### ワンポイント

#### 分かりやすい検診案内を作成する4つのコツ



#### 1. 情報が整理されている

受けるべきがん検診の項目や実施する場所・日時が一目で分かる



#### 2. 情報に優先度がついている

重要度によって文字の大きさやカテゴリー別に分かれている



#### 3. イラストを使用している

文章に加えイラストが入っていると、内容をよりイメージしやすくなる



#### 4. 色分けされている

黒だけの単色より、色分けされていると視覚的に情報が理解しやすい

## 検診ガイド・広報の内容を見直し、がん検診受診率が向上

検診に関するお知らせを続けている自治体の中には、従来の案内内容が長いあいだ踏襲されており、本当に分かりやすいか、定期的に見直しを行うことができていない場合があります。京都府宇治市もその一つでした。予算の都合により、がん検診の実施については市広報でのお知らせのみだったそうです。長年継続していたものの、受診率は複数あるがん検診を通してそれほど高くありませんでした。

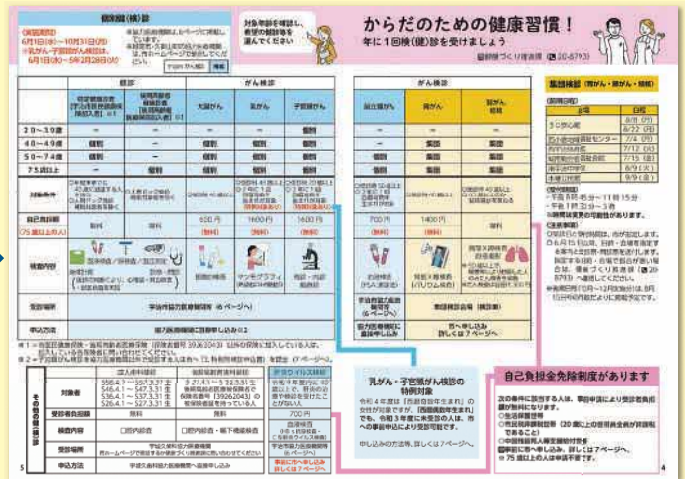
そこで、令和4年度から掲載内容を見直し、デザインを一新。まず内容について、ほとんど文字だけで説明していたのを、圧迫感のないように、視覚的にイラストなどを活用して視認性を上げる工夫をしました。また、それまでは実施するがん検診の項目の中から自分が該当するものを探す必要がありましたが、年齢から自分が受診できるがん検診が見つかるように表記方法を変更しました。

さらに、検診の一覧化や集団検診と個別検診で色を変える、情報の重要性によって掲載スペースや文字の大きさを変えるなど、情報を整理したことによりシンプルで見やすくなり、受診率もアップする結果に。予算をかけずに市民目線の情報整理により受診率が伸びたことから、従来の方法にとらわれずに、情報を受け取る市民の立場で見直しをしていくことの大切さが分かります。

広報【改定前】



広報【改定後】



**課題**

- 自分が受診できる検診が分かりにくい。
- 文字での説明が多く、情報量が多い印象で読み疲れる。
- 誌面全体の配色や文字の大きさに強弱がなく、大切な情報がどれなのか把握しにくい。

**改良点**

- がん検診の項目から該当するものを選ぶのではなく、年齢から自分が受診できるがん検診を探せるようにしたことで、より選びやすくなっている。
- 検診内容をイメージしやすいように、イラストで説明している。
- カテゴリー別に色分けして視覚的に理解できるようになっている。

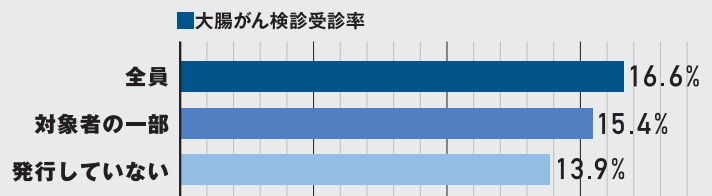
## 3 がん検診対象者に受診券を送る

# 受診券 # 対象者全員

検診ガイドや広報以外に、受診券を送ることも、よりがん検診に関心を持ってもらえる貴重な機会となります。受診券に、申し込んだ or 受診できる検診項目を記載しておくことで、対象者は「自分がどのがん検診を受けることができるか」が明確になり、受診行動につながりやすくなります。

### アンケート結果より／受診券の発行と受診率の関係

問：受診券の発行対象者は誰ですか。(対象者が50,000人以上の自治体で比較)



受診券の送付は検診ガイドや広報紙・誌に並ぶほど、勧奨方法としては効果が期待できます。できればより多くの住民へ送ることをお勧めしますが、コストがかかるため、初めは一部の人に送付して反応を見てから、というも方法として考えられます。

# 02

# 申し込みについて

## がん検診の申し込み方法や費用といったハードルを下げる工夫をしましょう。

がん検診の申し込みは、検診を受けるための、まさに入り口となる重要ポイントです。せっかくの「検診を受けよう」というモチベーションが下がってしまわないような工夫が必要です。

### 3つのポイント

- 1 予約方法を工夫する
- 2 申し込み方法を分かりやすく伝える
- 3 検診費用は、受診者負担を抑える

## 1 検診の予約方法を工夫する

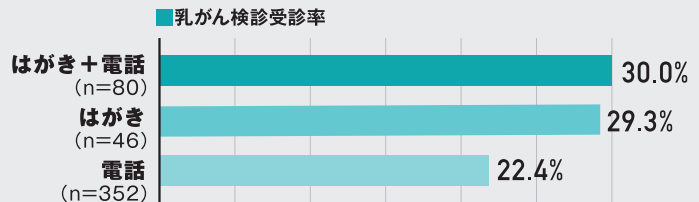
#申し込み #予約方法 #Web申込

多様な立場の受診希望者がいることを考えると、申し込み方法は、現在の方法だけで十分でしょうか。受診率が上がらない場合には、それぞれの年代・立場の人が申し込みやすい方法を、複数考え検討すべきかもしれません。

また、これまで「はがきのみ」、もしくは「電話のみ」など、一つの窓口だけを用意していた場合、「Web申込」など新しく別の予約方法を用意すると、これまでの受診者以外に新規の申し込みが増加することも期待できます。

### ■ アンケート結果より / 申込受付方法と受診率の関係

問：集団検診の日程予約はどのような方法で受け付けていますか。



乳がん検診の場合、集団検診の日程予約の受け付け方法として、「電話」より「はがき」、そして、「はがき単体」より「電話とはがき」の両方で受け付けるほうが、より受診率が上がるという結果が出ています。それぞれの方法の特徴を考えると、やはり電話の受付時間帯など、受付側の都合に左右されがちな方法よりも、希望者が申し込みもうと思ったその時に行動に移せる方法のほうが、受診率は上がることが分かります。

### 事例

## 京都府福知山市

市の人口 76,037 人

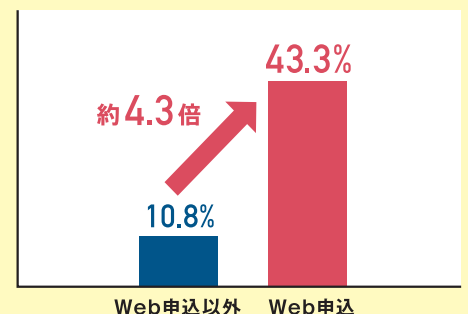
高齢化率 30.3% (令和4年3月31日当時)

## Webでの申し込みを実施、がん検診の新規受診者が増加

京都府福知山市では「Web申込」を導入し、新規受診者を増やしていくことに力を入れています。令和3年度の大腸がん検診では、Web申込以外の新規割合が10.8%だったのに対して、Web申込は43.3%と、インターネットを利用している層の取り込みに成功しています。ただし、Web申込者数がまだまだ少なく、認知度アップが次の課題となっています。

また、同市では、Web申込時に複数受診の勧奨をする取り組みも行っています。Webサイトに「できるだけ多くのがん検診を受けることをお勧めします。国の推奨〈毎年〉大腸がん、肺がん〈2年に1回〉胃がん、子宮頸がん、乳がん」と掲載し、5つのがん検診を国が推奨していることをお知らせし、より多くの種類の受診を促しています。

### ■ 大腸がん検診の新規受診者の割合 (令和3年度)





## 2 申し込み方法を分かりやすく伝える

# 申し込み方法 # 動作指示

申し込み方法は、はがき、電話、窓口申込、FAXなどさまざまです。さらに、がん検診と特定健診、また個別健診と集団健診の申し込み方法が異なっているなど、受診者にとっては分かりづらくなっているケースがあります。しかし、申し込み方法が複雑なままだと、受診者が受けたいと思って申し込む段階で面倒になり、受診をやめてしまうことも。きちんと整理して分かりやすく伝えましょう。

### 事例

広島県東広島市

市の人口 189,039 人

高齢化率 24.6% (令和4年1月1日当時)

### 健診の受け方や申し込み方法における「分岐」を分かりやすく

健診の種類ごとに異なる対象者、受け方（集団健診・個別健診）の複数の選択肢、受け方それぞれで異なる申し込み方法等、対象者が健診を選び申し込むにあたっては健診に関する自治体の複雑な仕組みを理解する必要があります。

健診ガイド等において仕組みの説明が分かりにくくなってしまいう主な原因が「分岐」の扱いにあります。例えば、Web予約は集団健診でしか使えないにも関わらず、一見すると個別健診でもWeb予約できるかのように見えてしまうのは、予約方法が集団と個別で「分岐」していることが分かりにくいケースです。

広島県東広島市の健診ガイドでは、集団健診と個別健診の入り口を上手に分岐させ、また集団健診の中で申し込み方法を郵送とWebとさらに分岐させています。また、その後のページに関しても集団健診に関するページと個別健診に関するページを分け、情報が混在することを防ぐことで分かりやすく情報を提示しています。



東広島市：令和4年度「健診の手引き」



1 P2：健診の種類を最初に一覧で掲載



2 P3：集団健診日程へ



3 P4：医療機関一覧へ

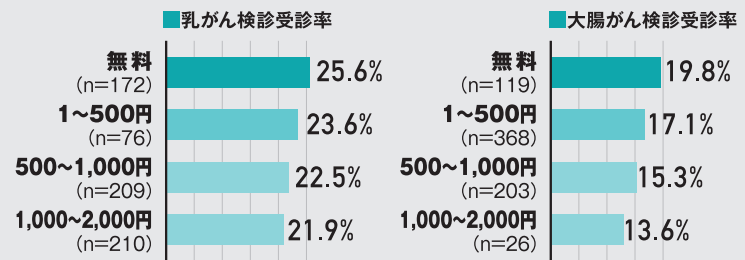
## 3 検診費用の負担を抑える

# 検診費用 # 自己負担額

検診費用の自己負担額が受診率に大きく影響することは、明らかになっています。集団検診に比べ、個別検診になると金額が上がるケースがあり、特に乳がんは金額が高く設定されていることがあります。これが受診率を妨げていることが考えられます。

### アンケート結果より／自己負担額と受診率の関係

問：健・検診の自己負担額はいくらですか。(個別検診)



### 事例

愛媛県松山市

市の人口 505,521 人

高齢化率 28.6%

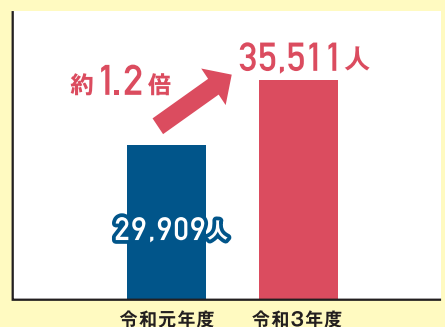
(令和4年3月31日当時)

### 検診の自己負担額を見直し、受診率向上につなげる

愛媛県松山市では、令和2年度から令和5年度までの期間限定で、国保加入者のがん検診にかかる自己負担金を無料とし、新たな受診者を増やしていくことと、検診の習慣化を目指しています。また、令和3年度からはWeb予約シ

ステムを導入し、より受診しやすい環境を整備。新型コロナによる受診控えの反動といった複数の要因も考えられますが、令和2年度に比べ令和3年度はすべての種類のがん検診受診率が増加する結果につながりました。

### 国保加入者の5がん検診の受診者数(～74歳)



# 03

# 検診当日について

## がん検診をスムーズに受けられるように、 検診当日にできることを見直しましょう。

がん検診を受けない、または受けたくない人にとって、その理由の一つになっているのが「時間」です。できるだけ効率よく受診できるように工夫することが受診率アップの鍵になります。

### 2つのポイント

#### 1 がん検診と特定健診との 同時受診を勧める

#### 2 待ち時間は短く抑える

### 1 がん検診と特定健診の 同時受診を勧める

# 特定健診 # 同時受診

全国では、特定健診とがん検診を別日で実施している自治体は少なくありません。しかし、実際にスケジュールを空けて受診会場へ足を運び、一つの健・検診を受けるだけでも、受診者としてはひと仕事です。特定健診を受けた後に、またあらためてがん検診を予約するとすると、受診することが面倒になり、「また来年にしよう」と、受診意欲を削いでしまいかねません。せっかくの受診機会を逃さないためにも、特定健診とがん検診は同時受診できることが望ましいでしょう。

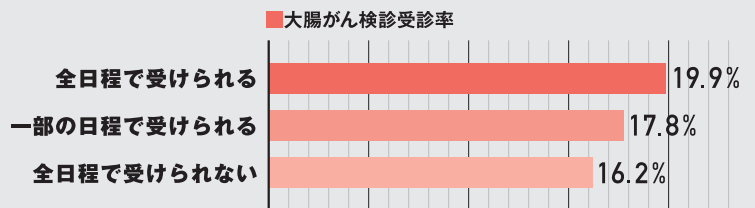
### 2 負担がないように 待ち時間を短くする

# 待ち時間 # 負担最小限

医療機関を利用した際に、長時間順番を待った経験のある人は少なくないでしょう。がん検診についても、特に現役世代にとって、「待ち時間」の長さは受診に至らない原因の一つと考えられます。逆に言えば、待ち時間を短縮できれば、受診への心理的ハードルを一つ除くことができるということ。受診時間をずらしたり、受診できる医療機関を増やしたりと、時間短縮につながる工夫をしましょう。

#### ■ アンケート結果より / 同日受診と受診率の関係

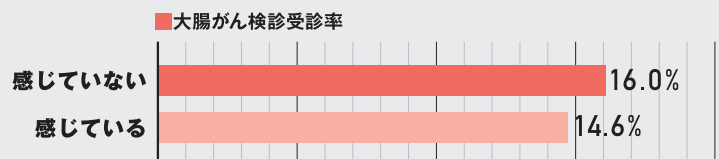
問：特定健診とがん検診の集団健・検診を、同日に受けられるようになっていきますか。



大腸がん検診を例にとってみると、特定健診と同日のがん検診が、「全日程で受けられない」「一部の日程で受けられる」「全日程で受けられる」と、順番に受診率が上がっていくことが分かります。特定健診とがん検診を同日に受診できるようにしておくことで、健・検診を申し込む際に「どうせならあわせて受診しよう」と、相乗効果が生まれることが考えられます。また、申し込みを受ける側も、「一緒に受診しませんか?」と、一声かけやすくなるのもメリットの一つです。

#### ■ アンケート結果より / 待ち時間の課題解消と受診率の関係

問：待ち時間を含めた健・検診時間の長さは貴自治体の健・検診事業の課題だと感じていますか。



大腸がん検診と比較した場合、待ち時間を含めた健・検診時間の長さを自治体の健・検診事業の課題だと感じている自治体より、感じていない自治体のほうが、受診率は高いというデータが出ています。つまり、待ち時間を含めた健・検診時間の長さにかかしの対策をし、待ち時間の課題が解消されている自治体では、受診者がストレスなく足を運びやすいということがアンケート結果からうかがえます。

## 受診にかかる時間が長いと翌年のリピート率が低下する

検診機関である愛媛県総合保健協会では、がん検診と特定健診にかかった所要時間と翌年のリピート率について調査・分析を行いました。平成30年度に受診した人を対象に、同年の受診にかかる時間が翌年の受診行動にどのような影響を与えるかを調査した結果、受診にかかる時間が長ければ長いほど、翌年のリピート率が下がる傾向があることがわかりました。調査対象となったのは、特定健診のみ、特定

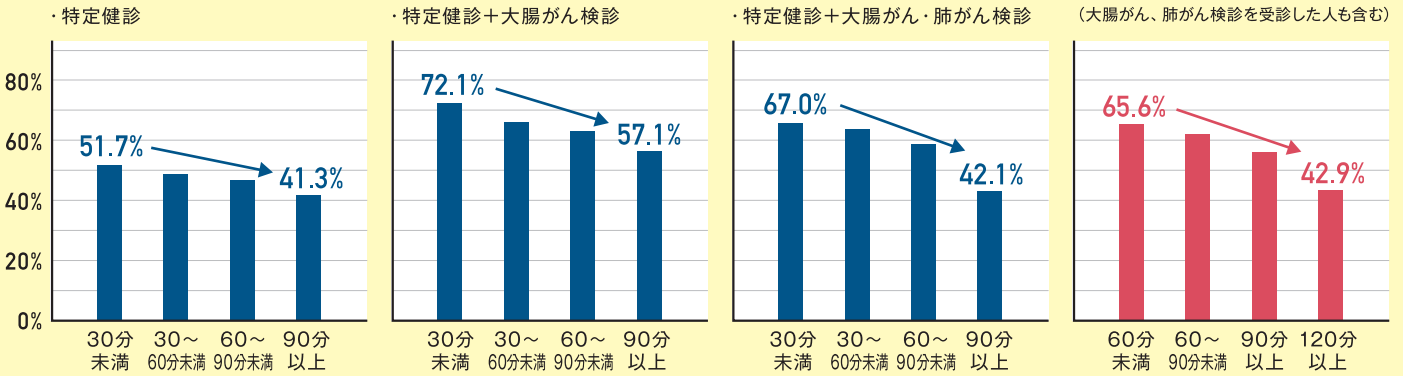
健診+大腸がん検診、特定健診+大腸がん・肺がん検診、特定健診+乳がん・子宮頸がん検診（大腸がん検診、肺がん検診を受診した人を含む）を受診した人で、すべての健・検診で受診にかかる時間が長くなるほどリピートする人が減少する結果となっています。勤奨によってせっかく受診したとしても、長時間かかってしまうと、その後の健・検診の受診行動を妨げ、逆効果になってしまうのです。

例えば集団検診では受付を分散して待ち時間を少なくするなど、できるだけ時間短縮に努めましょう。

### 結論

◎ 受診に長時間かかると受診率低下につながるため、検診方法を工夫して時間短縮を目指しましょう。

■ 受診の所要時間と翌年のリピート率の関係（平成30年度～令和元年度）



## コラム

### 健・検診時期の検討や検診日程の追加は、受診率に影響する？

#### 例) 京都府宮津市

市の人口 16,721人 高齢化率 43.17%

(令和4年12月31日当時)

#### 冬季に追加で実施した検診に、受診者続々

京都府宮津市では、令和2年度まで集団健診（特定健診・がん検診の同時受診可）を6～7月、個別検診（子宮頸がん・乳がん）を6～12月に実施していました。そして令和3年度、さらなる受診者増を目指し、年度途中に検診機会の追加を検討し、さまざまな取り組みに着手します。

子宮頸がん・乳がんの検診を、年明けの令和4年1月12日（水）にも実施し、お知らせには「コロナ禍でも大切ながん検診 買い物ついでに検診10分！」のメッセージを掲載。Web申込でもできるようにしました。すると、12月17日（金）に案内

送付後、12月21日（火）昼には定員に到達。その後も問い合わせが多数あったそうです。結果、申込者87人、受診者77人となり、さらに申込者の約6割がWebからの申し込みだったという、新たな傾向もわかりました。

検診当日に受診者へアンケートを行ったところ、受診理由に「申し込み方法（が簡単）」「（受診時間が）短時間」などがあがる中、特出して「案内が来たから」という回答が多く、検診機会の追加と、それにとまなう追加案内がいかに効果的だったかが立証されました。

宮津市婦人科検診  
子宮頸がん検診・乳がん検診 追加実施

**コロナ禍でも大切ながん検診  
買い物ついでに検診10分！**

令和4年1月12日（水）

ローソン男山店 駐車場

午前 ①10:30～11:30  
②11:30～12:30

道の駅 海の京都 宮津

午後 ①15:00～16:00  
②16:00～17:00  
③17:00～18:00

宮津市健康・介護課健康増進係 (0772) 45-1624

婦人科検診の追加実施チラシ

# 04

# 勧奨について

## 年度始めに検診通知を送るだけでなく、 時期を見て、繰り返し勧奨を行きましょう。

がん検診案内を対象者に一度送付するだけで、受診率を上げることは至難の業です。タイミングを見計らって複数回通知を送付したり、資材を工夫したりすることが大切です。

### 2つのポイント

- 1 対象者全員に複数回勧奨する
- 2 勧奨方法を工夫する

### 1 対象者全員に 複数回勧奨する

# 対象者全員 # 複数回勧奨

年度の途中で再勧奨を行うことは、受診率向上にとっても効果的です。ただし、再勧奨するにもお知らせを送るタイミングが重要になります。

受診日より何カ月も前に通知を送ってしまうと、受診日を忘れられてしまう恐れがあります。また反対に、受診日の直前に送ってしまうと、すでに予定が詰まっています受診できない人が増えてしまいます。できれば、検診申込期限の1、2カ月前を目安に送付するとよいでしょう。

#### ワンポイント

#### 勧奨効果を高める案内方法

##### 勧奨は 複数回行う

一度送っただけでは対象者の受診意欲を高めるのは難しく、タイミングを見て複数回行うことが大切。締め切り間近も効果的です。

##### タイミングを 工夫する

案内を送付する時期が受診開始日から離れすぎると忘れられ、近すぎると予定を合わせづらくなるため、申し込み開始日の2カ月前を目安に送るのがお勧めです。

##### 効率を 考える

受診勧奨の予算が限られる場合は、検診に関心があると考えられる過去受診者に勧奨するなど、対象を絞ることも一つです。

#### 事例

### 京都府福知山市

市の人口 76,037人 高齢化率 30.3%

(令和4年3月31日当時)



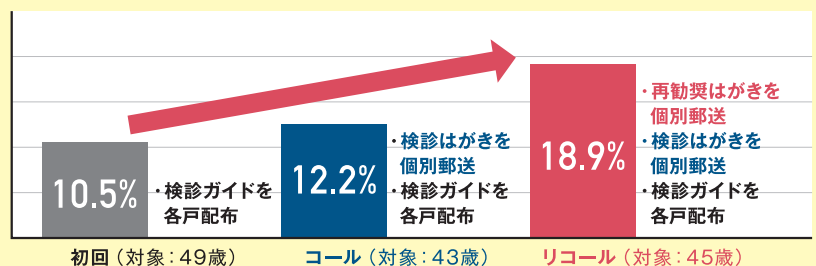
がん検診の受診率(令和3年度)

前年度比 **8.4%向上**

### 受診率向上に向け個別に再勧奨

京都府福知山市では、これまで年度始めに検診ガイドのみを各戸配布していましたが、年度内に追加で個別に受診勧奨(コール)や再勧奨(リコール)を開始。結果、検診ガイドのみのケースに比べて、個別に追加の勧奨を行うと受診率が約2%上昇。さらに、個別に再勧奨を行うと受診率が約7%伸びるという成果につながっています。

■ 乳がん検診の年間受診率(令和3年度)



## 2 勧奨方法を工夫する

# 割引チケット # 勧奨資材

がん検診をぜひ受けたいと思う人、まったく思わない人、受けたいと思っていても何らかのハードルがあり受けられない人……。がん検診に対する考え方や、現在の生活状況はまさに十人十色。そのような中でも、できる限り、対象となる人たちの事情や気持ちに「響く」メッセージを届けることができると、行動変容につながります。

### 事例

**東京都八王子市** 市の人口 562,145人 高齢化率 27.58%

(令和4年12月31日当時)

### 割引チケットを発行し、お得感や特別感を強調

東京都八王子市では、令和4年度に乳がん検診の受診勧奨として、「1万円割引」と印字した割引チケットを配布し、本来は12,000円かかるところを2,000円で受診できるというメッセージを前面に出す試みを行いました。

八王子市では従来から2,000円の自己負担で乳がん検診を受けることができたので、当初は、割引ではなく「2,000円受診券」の配布を考えたそうですが、2,000円は高額

にも感じられるため、より「お得感」を伝えようと「1万円も負担が軽くなる」ことがわかる割引チケットにしました。また、色をゴールドにして高級感を出すなど、特別感を演出。対象者へ受診の案内とともに送付したところ、結果として、受診者が前年度と比べ1,200人以上増えました。

割引を強調したチケットの送付がリマインドとなったり、目を引く資材で心が動いたりという、すでに他の自治体で効果が出ている



がん検診の受診率(令和4年度)  
前年度比 **大幅に向上**

工夫を検討する余地は十分にあると考えられます。



八王子市で発行された「1万円割引」クーポン券

### 事例

### 「希望の虹プロジェクト」発行の勧奨資材

### 無料で使える個別受診勧奨・再勧奨資材を提供

国立がん研究センターでは、より多くの自治体で個別受診勧奨・再勧奨を簡単に実施していただくために、勧奨資材のデザインを無料で提供する「希望の虹プロジェクト」を展開してきました。提供している勧奨資材のデザインは、ソーシャルマーケティングや行動科学などの知見を用いたもので、対象者へのインタビューを繰り返してニーズを把握し、伝え方として最適なメッセージを開発。

自治体が勧奨資材を作った場合、ついでに必要な情報を漏らさず一度に掲載することに注

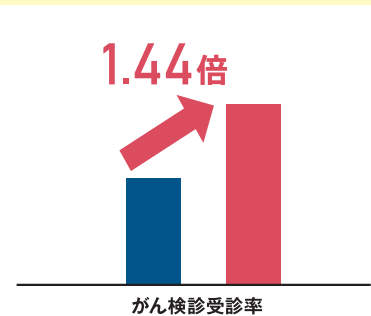
力してしまい、結果として文字が読みづらいものになってしまっているケースがあります。大切なのは受診に興味関心を持ってもらうことであり、そのためのメッセージや構成が必要です。

その点、同プロジェクトで提供する資材は、専門のライター、デザイナーの手によって作られた、「対象者の視点」に立った資材であり、すでに多くの自治体によって活用され、受診率を向上させる結果が生まれています。

詳細は「希望の虹プロジェクト」ホームページに掲載されています。ぜひご活用ください。



がん検診の受診率  
前年度比 **2.6%向上**



平成27年～平成30年の各年度に当該資料を用いて受診勧奨を行った市区町村のうち、比較が行えた167市町村中84%の141市町村で受診率が向上した。

出典：Mizota Y, Yamamoto S.Soc Sci Med. 2021 Jun;279:113961

### 希望の虹プロジェクト

<https://rokproject.jp/kenshin/>

希望の虹プロジェクト **検索**



がん検診の受診勧奨資材(圧着はがき・リーフレット)

## 「受診のきっかけ」となるポイントの一つずつ見直しましょう。

がん検診の受診率を向上させるには、複数の工夫を組み合わせることで効果が出ます。それぞれ改善ポイントをチェックして、できることから始めていきましょう。

### 6つのポイント

- 1 複数受診を勧める
- 2 意向調査を実施する
- 3 不來場者に再度受診を勧める
- 4 大腸がん検査キットを送付する
- 5 精密検査の医療機関を提示する
- 6 薬局と連携する

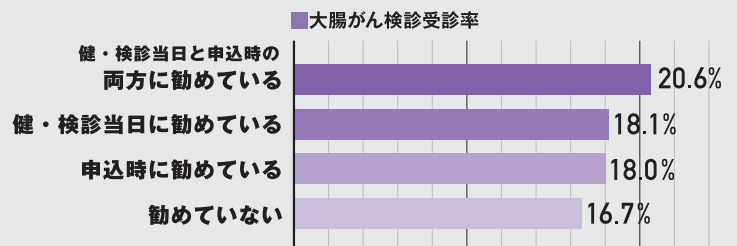
## 1 健・検診の複数受診を勧める

# 検診当日 # 複数受診

できるだけ多くのがん種の検診を受けてもらうためには、さまざまな機会を利用して対象者に複数受診を勧めることが大切です。例えば、申し込みの際に「他のがん種の検診も受けてみては？」と一声かけたり、検診当日に受けていない他のがん検診について「他にも受けられる検診がありますよ」と、お勧めしたりすることは非常に効果的です。

### ■ アンケート結果より／複数受診の勧奨と受診率の関係

問：複数の健・検診の受診を勧めていますか。



全国の自治体の大腸がん検診の受診率を比較すると、複数受診をまったく勧めていない自治体と、健・検診当日や申込時に勧めている自治体では、受診率に差が出るという結果が出ています。



### コラム

## がん検診を一人あたりいくつ受診しているか？

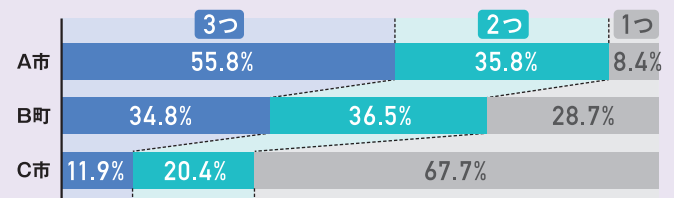
全国の自治体を比較すると、複数受診の割合が高い地域もあれば、ほとんどの人が一つのがん検診しか受けていない地域もあります。なぜ自治体によって複数検診の割合が変わってしまうのでしょうか。

それは、自治体による勧奨への取り組みの違いが大きく影響するものと考えられます。一人が複数の検診を受けている地域では、申込時や当日の声かけを行っています。また、独自の勧奨方法に取り組んでいる地域もあります。

複数受診の割合が低い地域はぜひ事例を参考にしましょう。

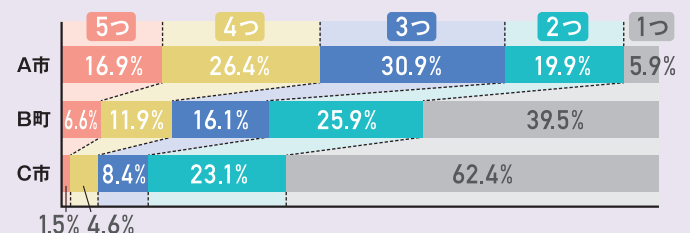
### 男性

- ・胃がん
- ・肺がん
- ・大腸がん



### 女性

- ・胃がん
- ・肺がん
- ・大腸がん
- ・乳がん
- ・子宮頸がん



東京都港区

区の人口 262,504人 高齢化率 17.1% (令和5年3月1日当時)

静岡県長泉町

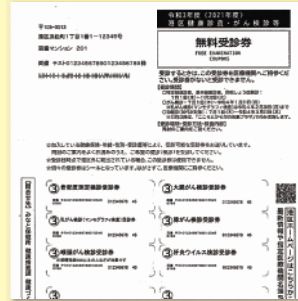
町の人口 43,340人 高齢化率 22.5% (令和4年4月1日当時)

「他にも受けられる検診」を視認できるシステム

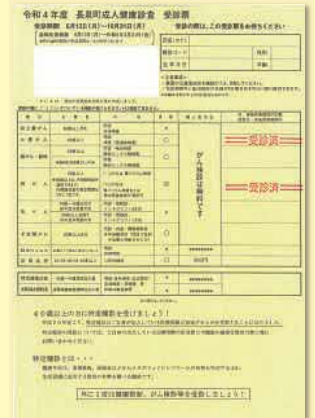
東京都港区はその人が受けられる検診をそれぞれシールに印字し、検診受診時にそのシールを医療機関側がはがすため、残っているシールを見れば一目で未受診の検診が認識できるシステムを採用。検診受診時に「他にも受けられる検診がありますよ」と医療機関が声をかけや

すようにしています。

静岡県長泉町はその人が今年度を受ける資格のある種類のがん検診が受診票に印字されており、受診すると確認のスタンプが押されるため、本人はもちろん、医療機関側も受けていない種類を把握ができる受診票を活用しています。



港区：シール付き受診券



長泉町：スタンプ式受診票

コラム

がん検診の申込時は「複数受診」を推進する絶好の機会？

例) 京都府宮津市

市の人口 16,721人 高齢化率 43.17%

(令和4年12月31日当時)

京都府宮津市では、受けたい検診を選ぶ様式(オプトイン)だった申込書を、令和3年度は、受けたくない検診を選ぶ様式(オプトアウト)に変更し、セット受診を推奨しました。結果、複数のがん検診を受診した割合がセット受診を促した令和3年度は、令和元年

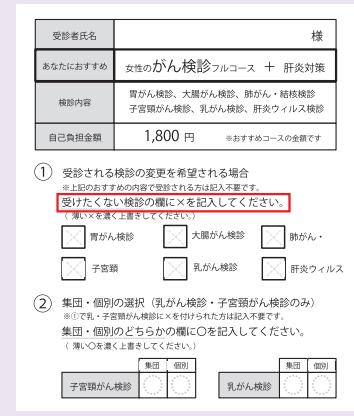
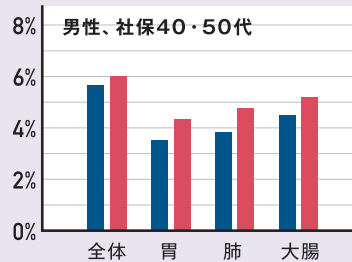
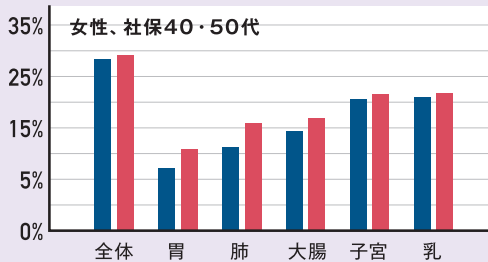
度を上回りました。

受診率向上にオプトアウトは有効だと分かりましたが、採用する場合は、対象者が望まない検診を誤って申し込んでしまわないよう十分な工夫が必要です。分かりやすく注意書きを書くなど工夫しましょう。



オプトインタイプの従来法(令和2年度)

■ セット受診と従来との申込率比較 ● 令和元年度(従来) ● 令和3年度(セット受診推奨)



オプトアウトタイプのセット受診勧奨(令和3年度)

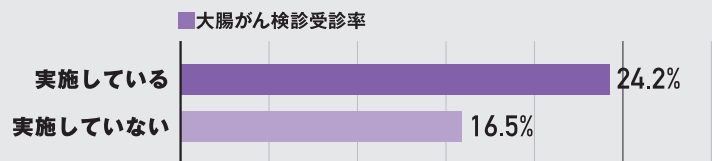
2 意向調査を実施する

# 次年度 # 意向調査 # ナッジ理論

次年度に受診する意向があるかを個人・世帯に聞き、受診見込みがある人数を把握するのが意向調査を行うメリットですが、もう一つ意外な側面があります。「次年度に受ける気持ちがある」と答えた人は、コミットメント効果が働き、がん検診に対して、さらに前向きになる傾向が見られると行動経済学(ナッジ理論)では考えられています。

■ アンケート結果より/意向調査と受診率の関係

問: 年度中に次年度の健・検診の受診希望を問う意向調査を実施していますか。



アンケート結果では、次年度の意向調査をしている自治体はしていない自治体に比べて、受診率が7.7%も高いという結果が出ています。(大腸がん検診の例)

### 3 不來場者に 再度、受診を勧める

# 検診当日 # 声かけ # 再勧奨

集団検診を予約したのに、当日に來ない人は一定数います。ただし、一度予約した人なので連絡先が分かっているため、再度、年度内での受診を勧めると、多くの人が受診する傾向があります。せっかくの受診意欲を無駄にしないためにも、ぜひ声かけを実施しましょう。

### 4 大腸がん検査キットを 申込者に送付する

# 大腸がん検査キット # 事前郵送

大腸がん検査キットを申込者の自宅に送付している自治体と、医療機関などに申込者が事前に検査キットを自分で取りに行く必要がある自治体があります。これは、事前郵送のほうが受診率の向上が期待できます。

#### 事例

#### 東京都八王子市

市の人口 562,145人 高齢化率 27.58%

(令和4年12月31日当時)

#### 対象を広げ、大腸がん検診キットを事前に送付

大腸がん検診に申し込んでいない層にも拡大して大腸がん検診キットを送り、受診率向上につなげた自治体があります。

東京都八王子市では、より質の高いがん検診を市民に提供するため、大腸がん検診の受診率向上策に着手しました。大腸がん検診を受診する人の視点に立つと、前もって検査キットを受け取りに行かなくてはならなかったり、検便を渡すためだけに来院したりといった手間が心理的ハードルとなっていました。

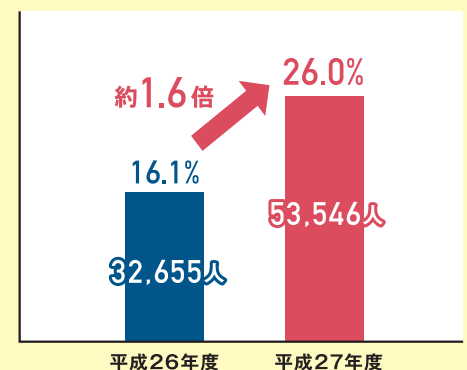
そこで、平成26年度に特定健診の申し込みをした人に対して、問診票とともに大腸がん検査キットを事前に送付する取り組みを開始。すると、大腸がん検診を受診した人が平成26年度は32,655人だったのに対し、平成27年度は53,546人に増加するという結果につながりました。



大腸がん検診の受診率

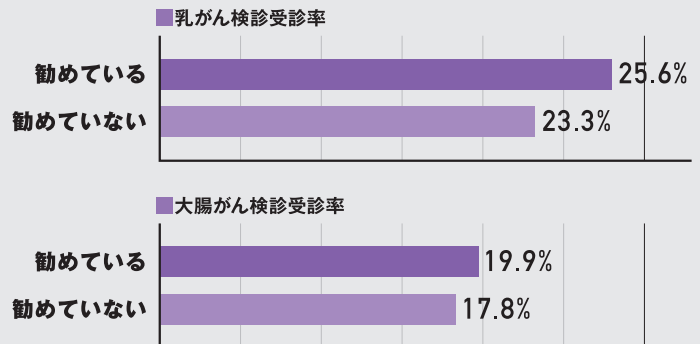
前年度比 **9.9%** 向上

■ 大腸がん検診受診率の推移



#### ■ アンケート結果より／不來場者への再勧奨と受診率の関係

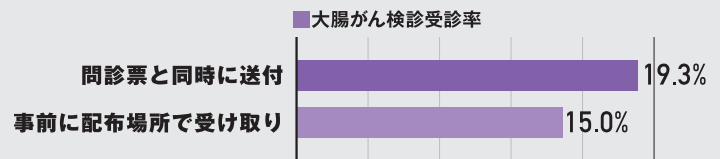
問：集団健・検診において、当日来場しなかった、または直前に受診キャンセルした対象者に後日連絡して再度受診を勧めていますか。



予約をしたものの、当日に受診しなかった人に再度受診を勧めている自治体と、勧めていない自治体では、乳がん検診、大腸がん検診ともに受診率に差が出る結果となっています。

#### ■ アンケート結果より／検査キットの送付時期と受診率の関係

問：大腸がん検査キットはどのタイミングで配布しましたか。



大腸がん検診で比較した場合、「事前に配布場所で受け取り」と「問診票と同時に送付」では、4.3%も受診率に違いが出ています。



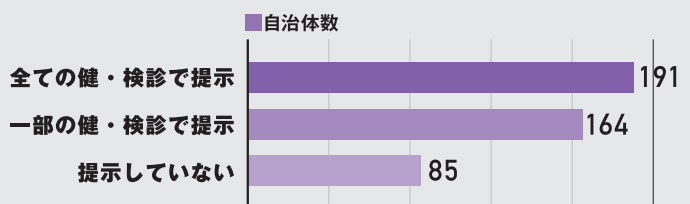
## 5 精密検査が受診できる医療機関を提示する

# 精密検査 # 医療機関

がん検診を受けた結果、要精密検査になった人には、できるだけ速やかに医療機関で精密検査を受けてもらう必要があります。しかし、精密検査を実施している医療機関を把握していない人も多くいます。その一方で、対象者に対して精密検査を受けられる医療機関をお知らせしていない自治体も少なくありません。これでは精密検査を受ける機会を逸してしまう恐れがあります。医療機関リストは必ず提示しましょう。

### ■ アンケート結果より／精密検査の受診機関を提示している自治体数

問：精密検査を受けられる医療機関の一覧を対象者に提示していますか。  
(対象者が50,000人以上の自治体で比較)



50,000人以上の自治体を対象に、精密検査を受けられる医療機関を受診者に提示しているかという質問をしたところ、一部の健・検診でのみ提示しているという自治体が164カ所、また、提示していないという自治体が85カ所あることが分かっています。

### 事例

## 広島県

### 県が主導して市町をこえた医療機関リストを作成

広島県では県庁が主導して、県内の精密検査を受けられる医療機関に登録を促し、市町をこえてリスト化する取り組みを行っています。登録リストはすべての自治体に配布され、各自治体はリスト内の医療機関であればどの医療機関をお知らせしてもよいことになっています。この取り組みによって、規模が小さな自治体は、管轄内に精密検査を受けられる医療機関がなくても、近隣の自治体にあ

ることを把握しているため、対象者に案内することができるのです。

また、医療機関リストはがん情報サポートサイト「広島がんネット」でも確認することができます。同サイトはがんの予防・検診、がん医療、緩和ケア、相談窓口、療養生活など、広島県のがんに関する正しい情報を発信しています。ぜひ参考してみてください。

#### 二次保健医療機関：広島

市区町	施設区分	施設名
中区	病院	医療法人社団曙会 シムラ病院
		広島赤十字・原爆病院
	診療所	大谷しょういちろう乳腺クリニック
		香川乳腺クリニック
		ひがき乳腺クリニック
		広島マーククリニック

#### 二次保健医療機関：呉

市区町	施設区分	施設名
呉市	病院	国家公務員共済組合連合会 呉共済病院
江田島市	病院	島の病院おとに
	診療所	えたじま幸田医院

#### 二次保健医療機関：尾三

市区町	施設区分	施設名
三原市	病院	医療法人須波宗斉会病院
世羅町	病院	公立世羅中央病院

乳がん検診 精密検査医療機関リストの例

参考：<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/gan-net/iryuu-network-nyuu-seimitsu.html>

## 6 薬局と連携して受診勧奨をする

# 薬局連携 # 薬剤師 # 直接勧奨

がん検診の勧奨をするタイミングは、広報や検診ガイドによる案内や、医療機関での声かけ以外にもあります。その一つが薬局です。病院を外来受診した際、処方箋を受け取ったら立ち寄る場所であり、対象者の中でも比較的健康が気になっている人たちに、アプローチできる絶好の機会といえるでしょう。

ポスターを貼ったり、チラシを配布したりといった方法もありますが、やはり一番効果的なのが薬剤師からの声かけです。がん検診の受診期間が近づいた頃に、来店者に対して「がん検診の予約はお済みですか?」と一声かけることがリマインドになり、受診意欲の向上にもつながります。

### 事例

## 北海道

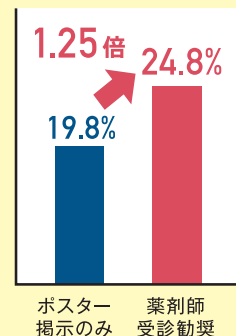
### 薬剤師の声かけにより受診率が向上

北海道は札幌市と協力し、薬剤師が受診勧奨することによる特定健診の受診率向上事業を実施しました。調剤薬局の薬剤師が処方箋を持ってきた患者に直接特定健診を勧める声かけを行ったところ、健診を呼びかけるポスターを掲示しただけの場合に比べ、新規受診率が1.25倍に増加する結果となりました。



掲示ポスター

#### ■ 新規受診率



## データ解析から読み解く！ 受診率向上に向けた対策

自らの自治体で行っているがん検診の受診率には、どのような傾向があり、他自治体と何が違うのか。それを知ることは受診率向上の大きな手がかりになります。ここでは、その分析方法やポイントの掴み方を解説します。

### 分析 01

## 受診勧奨効果がある年齢や性別を見出す

対象自治体

東京都江戸川区（平成28年度実施） | 京都府福知山市（平成25年度実施）

### がん種別による「検診無料クーポン」の結果から特徴を掴む

近年、対象者の年齢と性別、さらに地域によって受診勧奨効果に違いがあることが分かってきました。つまり、自市町村がどのような特徴を持つかを知ることが、受診率向上のポイントになります。

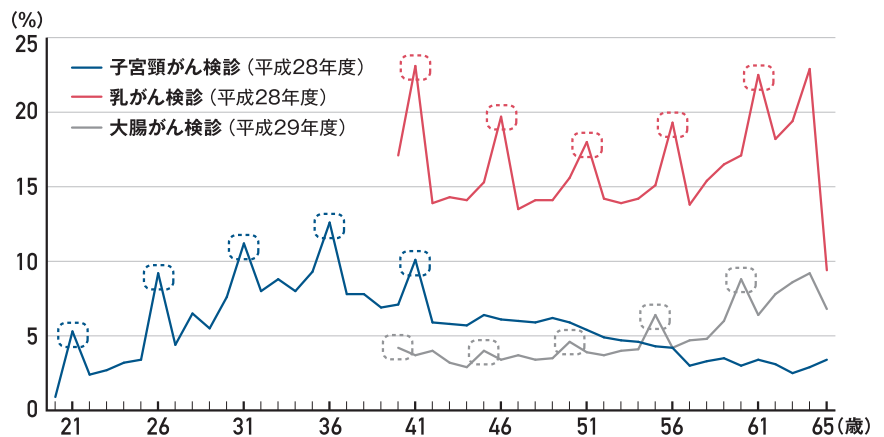
厚生労働省は平成28年度までがん検診推進事業として、一定年齢の方を対象に、がん検診（子宮頸がん検診、乳がん検診、大腸がん検診）の「検診無料クーポン」を5歳刻みで配布しました。

上のグラフ（東京都江戸川区）が表しているのは、横軸が1歳刻みの年齢、縦軸がその年齢ごとの受診率です。5歳刻みで無料クーポンが送られていますので、その年齢においては他の年齢と比較して受診率が高くなっています。これが受診勧奨効果と言えます。

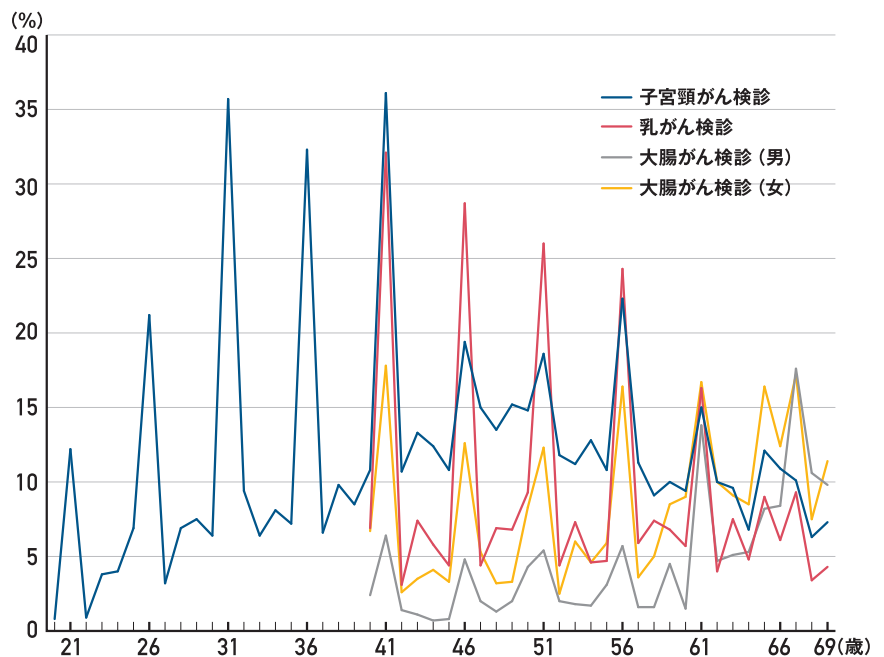
このグラフを見ると、同じがん種でも20代と40代で反応に違いがあり、性別によっても反応が変わっています。つまり、5歳刻みのすべての年齢の方に対して無料クーポンという同じ受診勧奨手法で勧奨したにも関わらず、がん種・年齢・性別などによって受診勧奨効果が異なるのです。

また上のグラフと下のグラフ（京都府福知山市）を注意深く見比べると、受診勧奨効果の現れ方が異なり地域性もあることが分かります。こうした特徴を把握すれば、自市町村ではどの年齢・性別に勧奨を行えば効果が出るかが分かるようになります。平成28年度以前のデータ（各年齢ごとの対象者数と受診者数）があればぜひこちらの分析を行うことをお勧めします。

■東京都江戸川区



■京都府福知山市（平成25年度）



### 対策

上記データでは、乳がん検診に対する「検診無料クーポン」の反応は、40歳は高く、60歳になると反応しなくなっています。また、子宮頸がんでは25歳、30歳くらいの反応がよいものの、20歳代前半は反応が鈍いなど、自らの自治体の反応を分析すれば、受診勧奨効果が出やすい対象者群や、もっと力を入れなければならない対象者群を割り出すことも可能です。

「新規受診者」「リポート受診者」「離脱者」の割合を把握する

一般的に、受診率を向上させるには「新規受診者を開拓する」ことが効果的だというイメージがあります。しかし、新規受診者の獲得に成功しても、一方でリポート受診者が少なく、離脱者が多いと、結果として受診率は変わらないことになってしまいます。

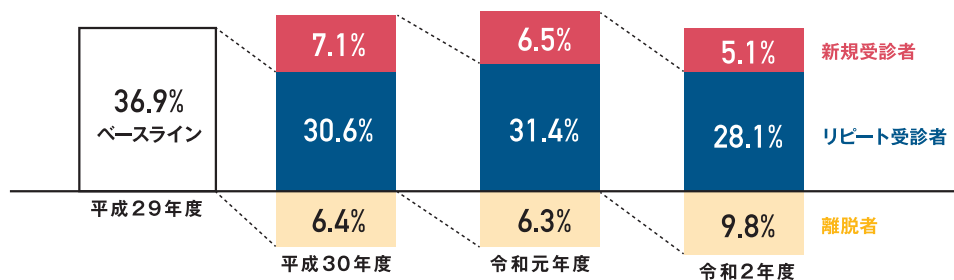
受診率を上げるには、新規受診者を獲得しながら、離脱者を減らし、毎年リポートして受診してもらう必要があります。しかし、全国の自治体の取り組みを見ると、新規受診者獲得に適した施策になっていて、リポート率改善が視野に入っていない場合も。リポート率を確認し、どこに力を入れるべきかを把握することをお勧めします。

対策

下記のデータを参考に、自市町村で「新規受診者」「リポート受診者」「離脱者」の割合を算出してみましょう。毎年のデータを蓄積していくと、取り組みによる変化も確認できます。

■大腸がん検診の「新規受診者」「リポート受診者」「離脱者」の割合 (平成29年度～令和2年度)

前提：平成29年度～令和2年度の4年連続で大腸がん検診の対象であった23,648人を分母に、平成30年度～令和2年度の3年間において、新規受診（前年度未受診）、リポート受診（前年度も受診）、離脱（前年度は受診で当年度は未受診）の割合を調査



どれだけ複数受診を勧めているか、医療機関によって大きなばらつきが存在

個別検診において、医療機関では複数の検診を提供していることがあります。本来なら、乳がん検診や子宮頸がん検診を受けた方も、対象者であれば大腸がんを同時に受診してもらうことが理想的です。

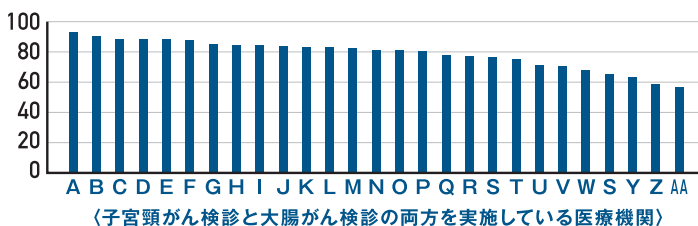
ところが、同時に受診ができるにもかかわらず

ず、乳がん検診や子宮頸がん検診のみを受診し、そのまま帰ってしまい、せっかくの受診機会を逃してしまっているケースが少なくありません。これを改善するには、自市町村の医療機関別に分析し、自市町村の状況を把握することが大切です。

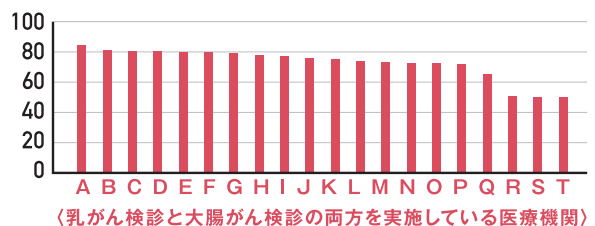
実際にこの自治体にある医療機関に聞き取

り調査を行ったところ、乳がん検診や子宮頸がん検診の当日に、受診者に対して「大腸がん検診も受けられますよ」と、複数受診を勧め、受けたいと言った方には検査キットをその場で渡し後日改めて提出してもらうことを実施していることが分かりました。

■医療機関ごとの子宮頸がん検診受診者における大腸がん検診の受診割合 (%)



■医療機関ごとの乳がん検診受診者における大腸がん検診の受診割合 (%)



対策

がん検診当日に受診者に対して、複数受診を勧める声かけはとても効果的であり、実際に受ける予定ではなかった他のがん検診をあわせて受診するケースが多いという結果が出ています。まずは、各医療機関で誰が検診を受けたか、またその人は他の検診も受けているかの分析をすることが重要です。また、複数受診率が高い医療機関への聞き取り調査も効果的です。

事例

京都府宇治市

市の人口 182,488人

高齢化率 29.9% (令和4年10月1日当時)

受診勧奨における施策内容と受診率の推移を時系列で比較分析

受診率向上に向けた取り組みを複数行っている場合、どの取り組みが効果的であったのか、年度全体で見えてしまうと非常に分かりにくくなります。

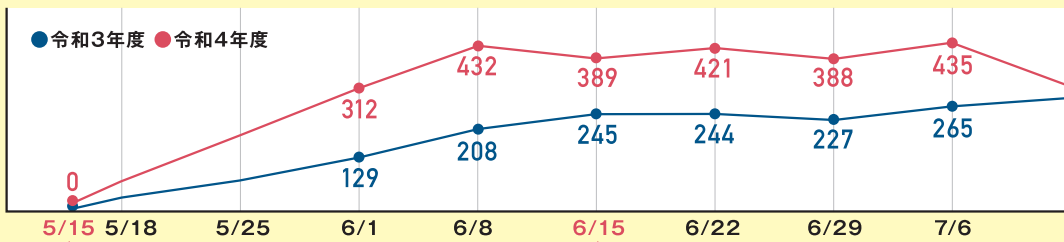
そこで、月別の受診者数と、月別に行った取り組みを突き合わせて分析することで、「どの取り組みが受診率向上に効果的だったのか」が明確になってきます。

実際に、時系列で取り組みを評価しているのが、京都府宇治市です。昨年度の受診率(青線)と今年度の受診率(赤線)をグラフ化し、宇治市の場合は、週単位でその時に行っている受診勧奨の施策と照らし合わせ、取り組み効果を可視化しています。このグラフを見ると、広報等に掲載する検診ガイドを見直したことで、前年度の6月初旬の受診者数よ

り大きく伸びています。また、6月中旬に検診ガイドをレイアウト変更して送付した直後にも受診者数の増加が見られ、効果があったことがうかがえます。

これを参考に、受診者数と取り組みを週単位や月単位で確認していきましょう。

■大腸がん検診の受診の波を比較



6月・7月  
受診者数

前年度比  
**+55.4%**

事例

広島県三次市

市の人口 49,359人

高齢化率 35.8% (令和5年2月28日時点)

「おすすめコース」の追加で複数受診を促進

広島県三次市では令和4年度から、申し込み方法として「おすすめコース」を追加しました。「個別コース」で自分が受けたい検診を選んで申し込むことももちろん可能ですが、そうするとどうしても「特定健診のみ受け

よう」「乳がんと子宮頸がんだけで良い」と選択する方が増えます。そこで、「おすすめコース①(特定健診+3がん)」と「おすすめコース②(特定健診+5がん)」を用意し、「おすすめコース」を選択すればコースに含

まれるすべての検(健)診項目を申し込めるようにしました。こうすることによって複数の検(健)診を受ける方が増えることが期待されます。

**おすすめコース**

①40歳以上の男性・女性の方 ※表中の年齢は、令和5年3月31日時点の年齢

対象者	検査項目(検査方法)	自己負担金
40歳以上 ○三次市国民健康保険加入者(40~74歳) ○後期高齢者医療保険加入者 ○生活保護受給者 ○社会保険等の被扶養者	1 特定(基本)健診 問診・身体測定・血液検査・尿検査 ※65歳以上の方は、肺がん(結核)検診が無料で追加されます	40~64歳 2,900円 65~69歳 2,300円 70歳以上 無料
②40歳以上の女性の方(昨年度乳がん・子宮頸がん検診を受診してない方)	2 肺がん検診(胸部X線検査) 3 胃がん検診(バリウム検査) 4 大腸がん検診(便潜血反応検査) 5 乳がん検診(マンモグラフィ検査) 6 子宮頸がん検診(細胞診・内診)	40~64歳 2,900円 65~69歳 2,300円 70歳以上 無料

選択

申込みは電話・FAX等で 健康推進課 TEL 0824-62-6232 / FAX 0824-62-6382

令和4年度 三次市総合集団健診 申込書 令和4年 月 日

三次市総合集団健診の内容を確認・了承のうえ、つぎのとおり申し込みます。

ふりがな \_\_\_\_\_ 住所 三次市 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ 性別 \_\_\_\_\_ 年齢 \_\_\_\_\_ 生年月日 \_\_\_\_\_ 性別 \_\_\_\_\_ 大・昭・平 \_\_\_\_\_ 年 月 日 男・女 \_\_\_\_\_ 連絡先 \_\_\_\_\_ 日中連絡のとれる電話番号 \_\_\_\_\_

1. ご加入の医療保険名(申込者の保険の資格に○印をしてください)

(1)三次市国民健康保険 (2)その他の医療保険(本人・家族) ※40歳以上の「本人」は基本健診以外をお申込みください (3)後期高齢者医療保険生活保護

母診希望日 \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_

2. おすすめコース(受ける項目に○印をつけてください)

おすすめコース①	おすすめコース②
基本(特定)健康診査	基本(特定)健康診査
肺がん検診(※1)	肺がん検診(※1)
胃がん検診(バリウム)	胃がん検診(バリウム)
大腸がん検診(便潜血2日)	大腸がん検診(便潜血2日)
乳がん検診(マンモ)	乳がん検診(マンモ)
子宮頸がん検診	子宮頸がん検診
前立腺がん検診	前立腺がん検診
肝炎(初回の方)	肝炎(初回の方)
風しん抗体検査	風しん抗体検査

※1) 65歳以上の基本(特定)健康診査は、肺がん検診(結核健診を兼ねる)が含まれています。

三次市「おすすめコース」の内容

令和4年度 三次市総合集団健診 申込書より

事例

福井県美浜町

市の人口 9,323 人

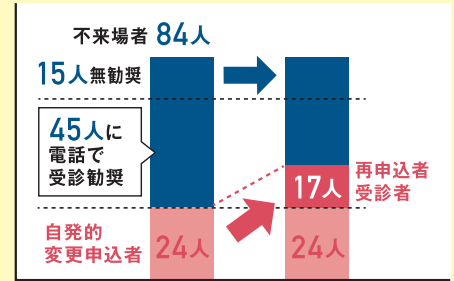
高齢化率 36.8% (令和2年9月30日当時)

集団検診の不来場者に対する受診勧奨について

福井県美浜町では、令和元年度に集団検診の不来場者に対する受診勧奨の検証を行いました。84人の不来場者のうち、住民が自発的に日程変更・再申し込みの連絡をしてきたのは24人(29%)でした。そこで、連絡の無かった60人のうち、45人に受診勧奨を電話で行ったところ17人(全体84人の20%)が再申し込み・受診につながりました。

一方、電話での受診勧奨ができなかった15人からは、年度末まで待っても申し込み連絡はありませんでした。従って、不来場者は待っているだけではその年度内に再申し込み・受診につながる見込みは30%程度に留まりますが、受診勧奨を行うことで約半数は再申し込み・受診につなげることが可能であることが分かりました。

■ 不来場者への受診勧奨の効果



事例

福井県高浜町

市の人口 10,234 人

高齢化率 32.4% (令和2年9月30日当時)

郵送による回収でも高い意向調査票の回収率

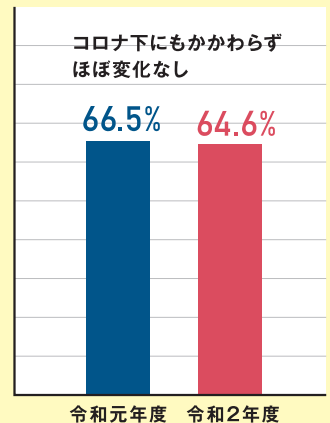
福井県高浜町では、次年度向けの受診意向調査を年度末に例年行っています。令和元年度までは地域の健康推進員の方々が個別訪問で意向調査票を回収することで、66.5%と高い回収率でした。しかし、令和2年度にコロナ下で個別訪問ができなくなったことで、郵送による回収に切り替えたところ、回収率は64.6%とほとんど変化がありませんでした。

年度末に受診意向調査に答えることで翌年度に受診ができるというサイクルを毎年まわしてきたことで、受診意向調査に答えることがもはや住民の習慣になっているものと思われます。



高浜町/健診・がん検診等【希望調査票】

■ 意向調査票の回収率の推移



事例

島根県江津市

市の人口 22,959 人

高齢化率 39.4% (令和2年10月1日当時)

検査キット配布における施策効果

島根県江津市では、大腸がん検診受診率向上に向け、国民健康保険加入者で対象となる方のご自宅に大腸がん検診の検査キットを送付しました。

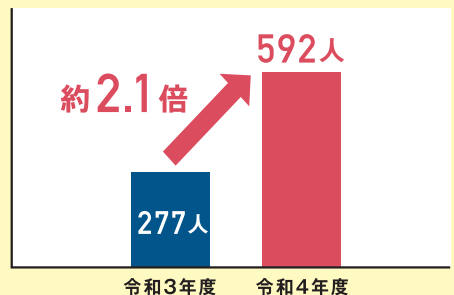
従来は、申し込みのあった方だけに、検診委託機関から検査キットが送付される仕組みでしたが、国保に加入している方は無料で大腸がん検診を受けられることなどから、申し

込みのない方にも検査キットを送付することにしました。

その結果、令和3年度、40歳から69歳の国保の大腸がん検診受診者数が277人であったところ、令和4年度の受診者数は592人と2.1倍の受診者増となりました。

検査キットが手元に届いたことで、受診の良いきっかけになったと考えられます。

■ 国保加入者の大腸がん検診の受診者数 (40歳~69歳)

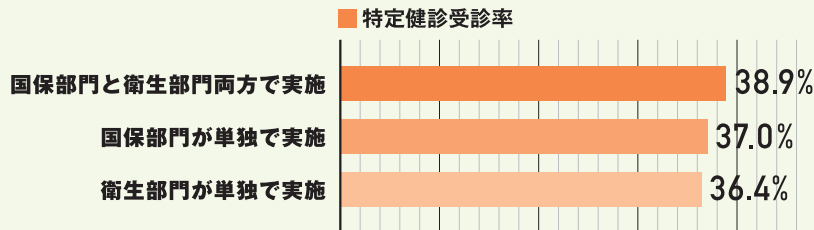


## 特定健診に関するアンケート結果について

がん検診の受診率向上施策として成果を得られた取り組みは、特定健診でも同様に成果につながる事が分かっています。全国自治体に対して行った特定健診についてのアンケート結果をいくつか紹介しますので、ぜひ参考にしてください。

### 特定健診受診勧奨の実施体制と受診率の関係

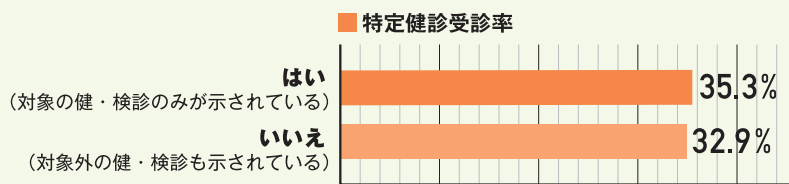
問：どのような体制で特定健診を実施していますか？



国保部門と衛生部門、それぞれが単独で特定健診を実施した場合よりも、両部門が協力して実施したほうが、受診率向上につながったという結果が出ています。

### 受診券の表示内容と受診率の関係

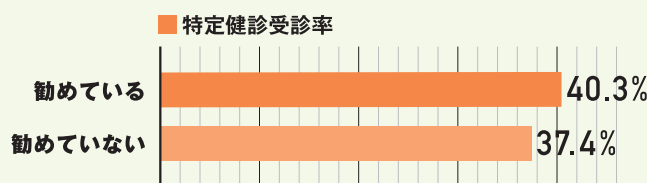
問：受診券には、対象者が今年度受けられる健・検診のみが表示されていますか？  
(対象者が50,000人以上の自治体で比較)



受診券に今年自分が受けられる健・検診以外のものが記載されていると、対象者は何を受けるべきか混乱してしまいます。その人が対象となる健・検診のみに絞って表示することが大切です。

### 集団健・検診との不来場者に対する受診勧奨と受診率の関係

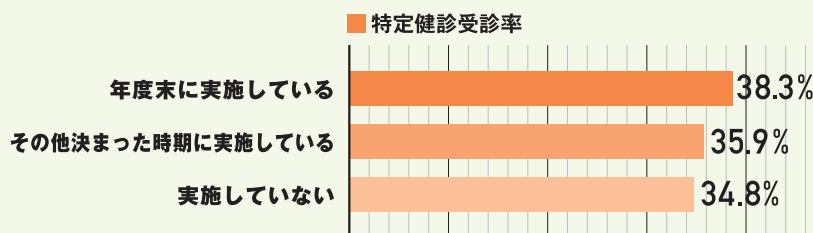
問：集団健・検診において、当日来場しなかった、または直前に受診をキャンセルした対象者に後日連絡して再度受診を勧めていますか？



一度何かしらの理由で健・検診が受けられないと、受診へのモチベーションが下がってしまう恐れがあります。電話での声かけなどあらためて受診を勧めましょう。

### 次年度の意向調査と受診率の関係

問：年度中に、次年度の健・検診の受診希望を問う意向調査を実施していますか？



意向調査を行うと受診率が高まる傾向があることが分かっています。がん検診に限らず、特定健診でもさまざまな機会を活用して実施することをお勧めします。





企画・制作

がん検診のアクセシビリティ向上策等の実証事業  
(厚生労働省「予防・健康づくりに関する大規模実証事業」)

公益財団法人 日本対がん協会  
国立がん研究センター 希望の虹プロジェクト  
静岡社会健康医学大学院大学  
株式会社キャンサーズキャン  
株式会社プロセシング

デザイン

株式会社グラフィソニック